

## 第13回双樹会定期総会・クラス役員会・特別講演を終えて

双樹会会长 岡野こずえ

2024年6月23日（日）PM1時より宇部国際ホテルにおいて、第13回双樹会定期総会・クラス役員会および特別講演を無事に終えることができました。当日は、緊急速報が出てもおかしくないほどの豪雨の中、100名以上の方々が集ってくださいり、予定通りに開催でき、本当に感謝の一言に尽きると思いました。

クラス役員会において、前回のクラス役員会のアンケートから「状況報告の場では無く協議の場にして欲しい」との意見が多かったので、今回はクラス役員を依頼するにあたっての「クラス役員の役割内容」について協議を行いました。その中で最も意見が出たのは、「住所不明者の掘り起こしについて」で、「どこまでをクラス役員が行うのか」が問題になりました。その結果、「所在不明者に関してクラスメイトへ働きかけは行うが、事務局への住所申請は本人の自由意思に任せるが、今後も同窓会誌掲載による住所不明者の探索活動は行う。」となりました。また、クラス役員の任期のおきましては、クラス役員のみなさまの状況に負うことが大きいと予測され、「75歳を目途とする」ことの明記は適切であろうとの合意に至りました。「クラス役員の役割」は、別紙の内容に決まりましたのでご参照ください。以後はこの内容でクラス役員に委嘱する事になりますので、ご協力を宜しくお願ひいたします。

総会は、学年担当の方々および会員の方々のご協力のもと、つつがなく終了することができました。

特別公演は医学部保健学科教授、山根俊恵先生による「ひきこもり“心の距離”を縮めるコミュニケーションの方法」で、先生が長年にわたりその問題解決に取り組まれてこられて来た内容およびその問題点等について予定時間を超えた講演が行われました。それは医療にかかる双樹会会員だけでなく多くの方々の関心事でもある事が良く理解されました。

最後になりますが、双樹会役員一同、精一杯、会の発展のために邁進してまいります。何卒、会員の皆様からのご支援を頂けますよう、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。